

2010年度事業報告書

公益事業につきましては、新美術館にて展示会・講演会・呈茶やグッズ販売を積極的に行うとともに、例年通り美術品写真原版の貸出等を行いました。毎年1月25日に行っております逸翁追善茶会は、裏千家佐藤宗紀のご担当で懸けていただき、約320人のお客様をお迎えし、入館料の一部100,000円を東北地方太平洋沖地震被災者への義捐金として、池田市を通じて日本赤十字社へ寄付いたしました。なお、別途マグノリアホールにて当財団主催などのチャリティコンサートを開催し、被災者への支援を行っております。

展示会につきましては、春季、夏季、秋季、早春の通年4回の企画展を開催し、総開館日数206日、総来館者数は、23,372人で一日平均約113人となりました。

また、4月22日にオープンいたしました小林一三記念館につきましては、総開館日数261日、総来館者数は、23,555人で一日平均約90人となりました。

観覧料収入は、記念館の収入が新たに加わったことにより約16,000,000円となり、前年度に比べ約53%、金額にして約5,600,000円の増加となりました。

収益事業につきましては、ホール貸出事業が稼働日数101日、集客総数6,687人、収入約6,000,000円となり、前年度に比べ約41%、金額にして約1,700,000円の増加となりました。

【1】逸翁美術館

(1) 公益事業

① 美術工芸品の一般公開ならびに講演会等の開催 ・展示会

テーマ・期間	月	開催日数		入館者数		観覧料	
		日	計	人	計	円	計
春季展 「芭蕉と蕪村一人と書と絵」 自平成22年4月17日(土)～至6月27日(日)	4	12		1,195		574,200	
	5	26		3,313	7,381	1,712,700	
	6	24	62	2,873	(119)	1,672,500	3,959,400
夏期展 「逸翁が見た海外」 自7月17日(土)～至8月22日(日)	7	13		1,022	3,060	555,300	
	8	19	32	2,038	(96)	1,090,100	1,645,400
秋季展 「中国陶磁の美」 自9月18日(土)～至12月5日(日)	9	11		1,022		555,300	
	10	27		1,851		891,200	
	11	25		3,900	7,153	1,136,800	
	12	5	68	380	(105)	877,400	3,460,700
早春展 「古筆と平安の和歌」 自平成23年1月15日(土)～至3月6日(日)	1	14		1,274		548,300	
	2	24		3,159	5,778	1,475,600	
	3	6	44	1,345	(131)	685,000	2,708,900
合計			206		23,372		11,774,400
					(113)		

注：()内は一日の平均入館者数

・講演会

実施日及び入場者	題名	講演者
春季展 平成22年5月29日(土) 約160名	「蕪村という画人」	画家 戸田 勝久氏
春季展 6月19日(土) 約180名	「芭蕉と蕪村 ーその作品と人物ー」	前逸翁美術館館長 岡田 彰子氏
夏季展 7月31日(土) 約80名	「ヨーロッパのやきものと生活文化」	西洋陶磁史家 大平 雅巳氏
秋季展 10月16日(土) 約55名	「小林逸翁と茶道具、中国陶磁」	薩摩伝承館館長 矢部 良明氏
秋季展 11月20日(土) 約70名	「茶の湯と明清の貿易陶磁 ー古染 と呉州手を中心にー」	東洋陶磁研究者 守屋 雅史氏
早春展 平成23年2月12日(土) 約146名	「かなの魅力」	五島美術館 学芸部長 名児耶 明氏
早春展 2月26日(土) 約142名	「古筆の楽しみ、古筆切と平安和歌の 世界」	逸翁美術館館長 伊井 春樹氏

②呈茶

- ・開催日 土・日・祝 10時～15時 85日間
- ・利用者 1,964人

③逸翁忌茶会

- ・開催日及び場所 1月25日(火) 人我亭
- ・参加者 317人

④友の会(入会金 5,000円)

- ・入会者 78人

⑤美術工芸品の受増及び購入

- ・その他の固定資産 購入3点
「なにの木の」 句益光付句懐紙1軸 松尾芭蕉筆
「大江山絵巻残欠」 1軸
「源氏物語和歌短冊 18枚」 上田秋成筆

⑥美術工芸品の寄託

- ・寄託3件
「大澤本源氏物語」53帖(2010年10月10日付)
「砂子切」1軸 伝藤原公任筆(2011年1月18日付)
「歌巻物切」1巻 西行法師筆(2011年1月18日付)

⑦美術工芸品の整理保管及び調査研究ならびに研究会・講演会等の開催

【調査研究】

- ・新収蔵システムの活用 : 既存データの更新、新規データのインプット等
- ・収蔵品の高彩度撮影 : 約230点
- ・新出書簡整理

⑧美術工芸品に関する解説、複製その他の刊行物の発行等

- ・美術品写真原版等貸出
- ・展覧会冊子発行 4点
春季展「芭蕉・蕪村 一人と書と絵」
夏季展「逸翁が見た海外 一海を渡ってきた美術品」
秋季展「逸翁コレクションにみる中国陶磁の美 一悠久の歴史」
早春展「古筆と平安の和歌 一料紙と書の美の世界」

⑨イベントの開催

- ・春季展 俳句コンテスト
「芭蕉・蕪村」展にちなみ、池田市内の5中学校(池田・渋谷・細河・北豊島・石橋)の中学2年生を対象に開催。合計761名が参加。
- ・秋季展 チャリティーコンサート「二胡の調べ」
「中国陶磁の美」展にちなみ、中国音楽に親しむ機会として、二胡のコンサートを開催。入場者数77名。
収益金38,500円は、全額池田市に寄付。
- ・早春展 書道コンテスト
「古筆」展にちなみ、一般および学生を対象に書道コンテストを開催。一般18名、学生32名が参加。

⑩共催展・協力展の開催

- ・共催展 1件
2010年10月30日～11月30日まで、山梨県立美術館において、「小林一三の世界」展を開催。山梨テレビ株式会社創立40周年を記念し、山梨県韮崎市出身である小林一三展を開催した。
総入場者数11,705人。

(2)収益事業

①貸室事業

- ・ホール:年間稼働日 101日

- ②不動産賃貸借事業
 - ・建物賃貸:喫茶室(借手 建石産業(株))

- ③物品販売事業
 - ・オリジナルグッズ制作販売:新規グッズ、既グッズ
 - ・ブックファースト、便利堂及びシーグ社等の受託販売
 - ・委託販売

【2】小林一三記念館

(1)公益事業

- ①小林一三の生い立ちや事績等の展示及び特別展の開催
 - ・4月22日(木)オープン

・常設展及び特別展

テーマ・期間	月	開催日数		入館者数		観覧料	
		日	計	人	計	円	計
第1回特別展 「小林一三と松下幸之助の交流」 自平成22年4月22日(木)～至8月1日(日)	4	8		1,114		307,900	
	5	26		3,703		765,100	
	6	26		2,827		476,400	
	7	27		1,651	9,449	391,700	
	8	1	88	154	(107)	35,500	1,976,600
第2回特別展 「小林一三と宝塚歌劇」 自8月10日(火)～12月5日(日)	8	19		1,962		328,100	
	9	26		1,348		327,600	
	10	28		2,441		488,500	
	11	25		2,345	8,538	420,800	
第3回特別展 「私の小林一三翁 ーみんなが語るー三さんという人ー」 自平成23年1月8日(土)～至3月31日(木) (会期は4月24日(日)まで開催)	12	5	103	442	(83)	76,400	1,641,400
	1	19		1,235		268,100	
	2	24		2,532		441,700	
合計	3	27	70	1,801	5,568	392,600	1,102,400
			261		23,555		4,720,400
					(90)		

注：()内は一日の平均入館者数

・トーク・ショー

実施日及び入場者	出演者
第3回特別展 平成23年3月26日(土) 90名	女優 寿美 花代氏

- ②国登録有形文化財の維持保全及び一般公開
 - ・雅俗山荘、長屋門、塀、茶室(即庵、費隠)

(2)収益事業

- ①貸室事業
 - ・茶室(人我亭、即庵)

- ②不動産賃貸借事業
 - ・建物賃貸：レストラン(借手 建石産業(株))
 - ・駐車場賃貸：(借手 建石産業(株))

以上